

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名： 中島 威夫

事業名 ：一般国道415号 <small>とやまかくふく</small> 富山拡幅		事業区分 ：一般国道	事業主体 ：富山県
起終点 ：自：富山県富山市四方荒屋 <small>よかたあらしや</small> 至：富山県富山市千原崎 <small>ちばらまき</small>		延長 ：2.7km	
事業概要 ：一般国道415号は、石川県羽咋市を起点とし、富山県氷見市、高岡市、新湊市を経て、富山市に至る延長約68kmの幹線道路である。富山拡幅は、富山市の環状道路の一部を形成するとともに、富山市北部特に神通川渡河における渋滞対策を目的とした延長2.7kmの4車線道路である。			
S61年度事業化		S54年度都市計画決定 (H 年度変更)	S61年度用地着手
全体事業費 ：約163億円		事業進捗率 ：84.9%	供用済延長 ：2.7km
計画交通量 ：24,400台/日			
費用対効果分析結果	B / C (事業全体) 1.7 (残事業) 3.0	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 52/95億円 (事業費：49/92億円) (維持管理費：3/3億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 158/158億円 (走行時間短縮便益：157/157億円) (走行費用減少便益：1/1億円) (交通事故減少便益：1/1億円)
基準年 ：平成15年			
事業の効果等 ・都市の再生（広域道路整備計画に位置づけのある環状道路を形成する） ・個性ある地域の形成（鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する） 他5項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 萩浦橋新設促進期成同盟会が設置されている。 また、毎年、富山市等より事業促進の要望書が提出されている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 着手時交通量(S58セカ：9,600台/日)と比較し2倍を超える交通量となっている(H11セカ：22,200台/日)			
事業の進捗状況、残事業の内容等 橋梁前後の区間は完了供用しており、橋梁部も暫定2車線で供用している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成15年度に上部工を発注し、平成16年度に下部工を完了し、平成10年代後半の全線供用を目指す。			
施設の構造や工法の変更等 道路改良における必要土量は他の公共工事から出る残土を利用することにより、工事発生残土の抑制、活用に努めている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			
			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

再評価の時点までに事業区間の一部に部分供用があり、事業全体の費用便益分析に変えて、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を実施。